

平成29年5月31日

成田市議会議長 伊藤竹夫様

議員定数検討会

座長 海保茂喜

議員定数に関する答申

前期において、成田市議会基本条例の策定を目的に設置された議会改革特別委員会では、議員定数のあり方についての議論はするものの、具体的な数は次期への申し送り事項となっていました。

そこで成田市議会では、議員定数のあり方、具体的な数について検討するため、平成28年6月21日付けで議員定数検討会が設置されました。

成田市議会の議員定数は、条例で30人と定められていますが、市民の代表としての議員は何人がふさわしいのか、様々な考え方があります。

議員定数について、議会基本条例に定める考え方に基づいて検討し、定数の背景・経緯などを議論した上で、適正な定数を示す必要があると考え、昨年6月から検討会を17回行い、様々な議論を重ねてきました。

また、アンケート調査で出された市民の意見や、市民団体の意見・要望等も参考に、当検討会では議員定数の議論を深めてきました。

その結果、以下のように取りまとめましたので、ここに答申いたします。

記

1. 議員定数のあり方については、必要とする背景、提案に至るまでの経緯、根拠や位置づけなどを付して、適正な定数を市民に示す必要がある。
2. 議員定数の具体的な数については、現状維持と削減に二分され、意見の一致をみるには至らなかった。
3. 議員定数の決定に当たっては、全議員に直接影響する内容であることから、可能な限りの賛同を得る取り組みに考慮されたい。

以上